

朝里ダム（小樽市）

<施設全景>



<位置図>



地図の出典元：国土地理院

<施設概要>

朝里ダムは、昭和40年・昭和50年の台風被害を契機に、抜本的な治水対策及び小樽圏の上水の確保を目的として、平成5年に完成した道内補助初となるRCD工法で作られた重力式コンクリートダムです。

<<みどころなど>>

朝里ダムは日本海から約5kmの位置にあり、数少ない海を望めるダムの1つです。天気が良ければ堤頂から朝里大橋（ループ橋）・山間から望む海を楽しめます。また、TVでも紹介された管理人手作りのダム案内やおもてなし心溢れた装飾などをご堪能ください。

<諸元>

形式：重力式コンクリートダム（RCD）
堤頂長：390m、堤高：73.9m
湛水面積：0.43km²、総貯水容量等：880万m³

<見学可能人数>

1回当たり、20人×1班

<見学箇所>

ダム堤頂部、監査廊、管理棟、ダム記念館

<アクセス>

朝里ICより、車で10分程度

<見学所要時間>

1時間半程度（要相談）

<その他施設>

駐車場：近隣駐車場に大型バス駐車可能
トイレ：駐車場・管理棟にあり

<周辺の観光情報>

ダム下流には朝里川温泉があり、市内には小樽運河、明治時代の建物や北海道初の鉄道の跡地、水族館、買い物や食事にも充実している。また、道道小樽定山溪線で定山溪ダムなどにアクセス可能

<注意事項>

監査廊内の見学を希望される時は、急な階段の上り下りがあるので、幼児や高齢者、体に不調がある方などはご遠慮いただきます。動きやすい服装・靴を着用して下さい。ヘルメットは貸し出します。

